

国際交流都市日光の再発見

—「観光モデルを留学生と考える」プロジェクト—

参加費無料



留学生及び海外経験のある学生を
先着25名、募集します！

協力：宇都宮大学地域連携・貢献活動支援事業
日光市

- ☆ 行政職員や大学教員らとバスで日光市の各エリアを回り、地元の方々と交流しながら、国際交流都市日光の魅力を①国際観光開発、②国際交流、③地域づくり、の3つの視点から再発見し、学生の気づきによる提言を行うプロジェクトです。
- ☆ 「日光市のまちづくりと観光開発への提言」を、学生主体のフィールドワークにより考え、世界や地域に発信して地域貢献することを目的としています。海外出身あるいは海外経験があるからその感覚を活かして、日光のまちづくりプランを、提案してみませんか？
- ☆ 2日間のバス代、入館料は無料です。昼食も無料で提供します。

日 程

2019年11月4日（月祝）

- 8:30 宇都宮大学峰キャンパス正門 8:30 集合・出発
- 10:00 **オリエンテーション** 於：日光郷土センター
- 13:00 **第1回フィールドワーク** 日光エリア、田母沢御用邸、ほか
- 18:00 宇都宮大学峰キャンパス正門 帰着予定

2019年11月10日（日）

- 8:00 宇都宮大学峰キャンパス正門 8:00 集合・出発
- 9:30 **第2回フィールドワーク** 奥日光エリア、湯元温泉、イタリア大使館、イギリス大使館、自然博物館、ほか
- 18:00 宇都宮大学峰キャンパス正門 帰着予定

2019年12月7日（土） 10:00～13:00

シンポジウム 場所：宇都宮大学 峰キャンパス UUプラザ2階

応募方法

10月1日(月)より5号館B棟3階多文化公共圏センター入口に応募用紙回収ボックスを設置します。所定の用紙に必要事項を記入の上、投函ください。(締め切り：10月18日)
多文化公共圏センターより追って連絡します。原則全日程(3日間)参加出来る方のみご応募下さい。
10月9日(水)10日(木)12:10より説明会を行います(場所：ラーニングcommons2)。

お問い合わせ先 国際学部附属多文化公共圏センター 担当：鄭 安君・小野寺 櫻子
TEL 028-649-5228 E-mail yokoonodera@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

国際交流都市 日光の再発見

『観光モデルを留学生と考える』プロジェクト
シンポジウム

日時 **2019年12月7日（土）**
10：00～12：15

場所 宇都宮大学 峰キャンパス
UUプラザ2階

プログラム

- 10：00～10：05 開会あいさつ
佐々木一隆（宇都宮大学国際学部長、宇都宮大学国際学部教授）
- 10：05～10：10 趣旨説明
重田康博（宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター員、宇都宮大学国際学部教授）
- 10：10～10：30 第1部 講演
奥日光健康診断と持続可能な観光地づくり
五木田 玲子（公益財団法人日本交通公社 観光地域研究部 主任研究員）
- 10：30～10：40 質疑応答
- 10：40～10：50 休憩
- 10：50～11：40 第2部 留学生によるプレゼンテーションとSNSを使った提言
国際交流都市日光の再発見！
- 11：40～12：00 プレゼンテーションへのコメント
丁貴連（宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター副センター長、宇都宮大学国際学部教授）
佐藤正人（日光市観光経済部観光課長、日光市国際交流協会事務局長）
- 12：00～12：10 質疑応答
- 12：10～12：15 閉会あいさつ
倪永茂（宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター長、宇都宮大学国際学部教授）